

「地域課題分野」（平成29年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河床変状に伴う横断構造物の破壊過程の把握と補修基準設定に関する研究	群馬大学 清水 義彦	A
<p><研究概要></p> <p>下流河床低下量が大きい場合、比較的小さい流量によって下流側から護床工が急激に流出していく「洗掘孔先行型破壊」のメカニズムを水理模型実験により明らかにした。流体・土砂・ブロックの粒子法連成解析モデルを構築し、「洗掘孔先行型破壊」の現象を再現した。洗掘孔先行型破壊の管理指標として「下流河床低下量」と「ブロックの傾き」を見出し、定量的な閾値を検討し、予防保全的な維持管理計画への応用を提示した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>A評価のためなし</p>		

※評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。